

2月11日

テーマ：「聖書は神の靈感による」

聖書箇所：テモテへの手紙第二 3章16節

◆今日のみことば

聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。
テモテへの手紙第二 3章 16節

◆メッセージ

聖書は「神のことば」と言われます。いったいどういう意味でしょうか。聖書六十六巻には、それぞれに著者と言って、実際に書いた人たちがいます。旧約聖書ではモーゼさん、ダビデさん、イザヤさん、新約聖書ではマタイさん、ルカさん、パウロさんなど、多くの人たちが聖書を書いたのです。でも、これらの人たちは、自分の考えを書きたいように書いたのではありません。目に見えない聖霊の働きを通し、神さまが伝えなさいと言われたことを、祈りながらまとめたのです。ですから聖書は、代筆の手紙ともいえますね。聖書の内容は、すべて神さまから来ているのです。



神のことばである聖書は「有益」です。有益とは役に立つということです。いったいどんな点で役に立つのでしょうか。二つのことがあります。第一に聖書は、神さまの子どもになるために何を信じたら良いかを教えてくれます。具体的には、私たちが神さまの子どもとなるため、神さまがイエスさまを通して何をしてくださったのか。聖書はそれを教えているのです。



第二に聖書は、私たちが神の子どもとして成長するため、どうしたら良いかを教えています。あなたのお父さん、お母さんも、あなたが成長するために、いろんなことを教えてくれますね。もし、あなたが間違いをししたら叱ることもあります。それはあなたのことが嫌いだからではありません。愛しているからこそ、間違いがあれば叱るし、そうやって正しく成長して欲しいと願っているのです。同じように神さまも、私たちが神さまの

子どもとして成長するために聖書を通して教えておられるのです。教えてくださるだけでなく、神さまに似るように私たちを変えてくださいます。毎日、聖書を読んで、成長したいですね。

◆お祈り

「天のお父さま。あなたのことばである聖書を読んで、聖書から学び、あなたの子どもの成長することができますように。」

(国外宣教師・台湾 齋藤五十三)